

令和 6 年度政務活動費収支報告書

会派名 無会派

1 収 入 政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	20,041	視察調査（R7.1.30～31岸和田市、和歌山市） 交通費9,591円、宿泊費10,450円
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	20,041	

3 残 額 99,959 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

R7.1.30～31会派視察 費用按分表

(単位：円)

月日	内訳	金額	公明党 (2人)	市民クラブ (2人)	市民ネット (1人)	無会派 (1人)
1月30日	レンタカー	27,200	9,067	9,067	4,533	4,533
1月31日	駐車料金	1,000	333	333	167	167
1月31日	燃料費①	2,000	667	667	333	333
1月31日	燃料費②	7,445	2,482	2,482	1,241	1,241
30日～31日	高速料金	19,900	6,633	6,633	3,317	3,317
合計		57,545	19,182	19,182	9,591	9,591

ご利用明細書

E T C利用照会サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
 ※本ご利用明細書PDFは、E T C利用照会サービスにて出力されたもので、一度に500件まで出力できます。
 500件を超える場合は複数回に分けて出力してください。
 ※2019年10月1日以降の通行料金は消費税率10%対象です。
 詳しいサービス内容はE T C利用照会サービスウェブサイト
 (https://www.etc-meisai.jp/)にてご確認ください。

合計金額

支払い総額	¥19,900
内訳 還元額適用金額	¥0
後納利用金額	¥19,900

利用 I C (自)	利用年月日 時分 利用 I C (至)	(割引前料金) (E T C割引額) 通行料金	還元額適用料金 後納料金	車種 車両番号 E T Cカード番号	備考
25/01/30 08:16 中津川	25/01/30 08:35 瑞浪	910	0 910	1 2315 *****28692094	確定
25/01/30 08:38 瑞浪	25/01/30 11:06 門真本線	(6,410) (-130) 6,280	0 6,280	1 2315 *****28692094	確定 E T C通常
25/01/30 11:06 門真本線	25/01/30 11:17 松原 J C T	650	0 650	1 2315 *****28692094	確定
25/01/30 11:17 松原近畿道入	25/01/30 11:39 岸和田南南行出	1,260	0 1,260	1 2315 *****28692094	確定
25/01/30 15:41 岸和田南南行	25/01/30 15:47 りんくう阪和道出	520	0 520	1 2315 *****28692094	確定
25/01/30 15:51 泉佐野	25/01/30 16:32 和歌山北	880	0 880	1 2315 *****28692094	確定
25/01/31 14:31 和歌山	25/01/31 15:45 門真 J C T	2,210	0 2,210	1 2315 *****28692094	確定
25/01/31 15:45 門真本線	25/01/31 18:16 瑞浪	(6,410) (-130) 6,280	0 6,280	1 2315 *****28692094	確定 E T C通常
25/01/31 18:23 瑞浪	25/01/31 18:41 中津川	910	0 910	1 2315 *****28692094	確定



ご請求明細書
STATEMENT

お名前 園原 武嗣

様

ドーミーインPREMIUM和歌山

Dormy Inn PREMIUM Wakayama

〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町3-36

3-36, Misonocho, Wakayama, 640-8331

TEL:073-402-5489 FAX:073-431-5525

登録番号:T1010001014427

お部屋番号 407

ご人数 1

ご到着 2025/01/30

ご出発 2025/01/31

日付 ご明細

部屋番号

料金

お支払等

備考

1

01/30 ◇ご宿泊代

407

10,450

ご請求金額

10,450

10%対象

10,450

(消費税

950)

◇ この請求書を仕入税額控除の確証としてご利用いただけます

■ 消費税課税対象外

◎ その他

発行番号

013001126984 P 1 2 1 A PA AL

25/01/30 16:59 0250682

ご署名

お名前

園原 武嗣

領 収 書

様

2025/01/30 013001126984

金額

¥10,450-

但し

ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

印紙税申告納
付に付
外神田

株式会社 共立メンテナンス

〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

行政視察報告書

無会派

- 1 実施期日 令和7年1月30日（木）
- 2 視 察 先 大阪府岸和田市
- 3 視察項目 教育相談室・子どもサポートルーム「エスパル」について
- 4 参 加 者 園原武嗣

（田口文数議員、糸魚川伸一議員、櫛松直子議員、松崎誠議員、黒田ところ議員の5名と同行）

5 視察目的

全国的に不登校の児童、生徒が増えている（全国34万人）。中津川市も例外ではない。不登校問題に対する取り組みについて岸和田市教育委員会を視察しました。

6 視察内容

（1）岸和田市の状況

- ・人口約18.8万人
- ・小学校24校（児童数約9,100人）、中学校11校（生徒数約4,600人）
- ・小中学生の「徳」の育成を目指している
- ・保護者からの子育てや不登校に関する相談件数は、来所相談1,117件、電話相談158件（令和5年度）
- ・タブレットを一人一台貸与

（2）視察項目（岸和田市の取り組み）

- ・心理的、情緒的な理由で登校できない小中学生のための居場所づくりとして市内各施設の活用。
- ・不登校児童、生徒を対象とした教育相談室、子どもサポートルーム「エスパル」を市内の各所に設置し、小集団での体験活動、スポーツ、遊びの活動などを通して社会的な自立や学校への復帰を促す。
- ・オンラインエスパルで個別の対応も行っている。メタバース活用も検討中。
- ・エスパルのスタッフは経験豊富な校長先生のOB、児童精神科医、カウンセラー（臨床心理士）などを配置。

・支援員探しは教員 OB、大学生アルバイト（教員を目指している学生）、ハローワークなどを活用しているが、近隣の町との人材の取り合いになっており、人材確保が今後の課題。

7 総括・まとめ

- ・エスパルスタッフは「不登校は問題行動ではない」という認識に立ち支援にあたっている。
- ・学校に来ない子に対してはこちら（相談室側）からアプローチする。
- ・子どもたち（保護者の悩みも含め）の自立とは、何でも自分で解決できるということではなく「困ったときに相談できること」である。
- ・相談できる場所があり、いつでも SOS を出せる（出しやすい）ことが自立の第一歩である。
- ・SOS 教育が重要であるとの考え方にに基づき不登校支援を行っている。

以上のような視点・観点が印象的で、このような考え方は中津川市においても参考になるのではないかと感じました。



行政視察報告書

無会派

- 1 実施期日 令和7年1月31日（金）
- 2 視察先 和歌山県和歌山市
- 3 視察項目 わかやまりノバージョンについて
- 4 参加者 園原武嗣

（田口文数議員、糸魚川伸一議員、櫛松直子議員、松崎誠議員、黒田ところ議員の5名と同行）

5 視察目的

人口減少、若者減少に伴い空洞化するまちなかの衰退を再生するため様々なプロジェクトに取り組んでいる和歌山市都市建設局 都市計画部 都市再生課 まちなか再生班を視察しました。

6 視察内容

（1）和歌山市の状況

- ・人口約 34.6 万人
- ・就業人口約 15.8 万人
- ・世帯数約 17.7 万世帯
- ・高齢化率 31.1%

（2）視察項目（和歌山市の取り組み）

わかやまりノバージョン事業

- ・都市計画手法を用いた取り組み
- ・官民の遊休不動産を活用したまちなか再生の取り組み
- ・和歌山市駅前地区第一種市街地再開発事業
- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現
- ・波及効果
- ・新たな展開

7 総括・まとめ

- ・まちなか再生プロジェクト「大学誘致×公共施設再編×公共空間確保×リノベーション」で統廃合や廃止となった校舎や公共施設を活用。市長自らトップセールスで様々な大学にアプローチし、学部や大学院の研究科などを誘致。2,000 人以上の学生が増え、市内・県内就職率も向上している。

- ・「リノベーションスクール」を開催したことにより新規事業者が増え、空き店舗の再利用など民間活動を活性化するきっかけを創出している。

- ・「まちなか再生班」という部署が個性的で職員も仕事を楽しんでいる雰囲気。

- ・「市民が歩きたくなるまち」「まちの居場所づくり」「仕事、生活、遊び、学びを混在させる」また、まちなか開発は「市民にどのようなメリットをもたらすかというストーリーを描くこと」などのキーワードがとても印象的でした。

以上のような点については中津川市においても参考になると感じました。

8 その他・感想

二日間の視察を通して、仕事は人と人のつながり、お互いの理解、信頼関係の中から新しい発想や現実を作り出すものであると改めて考えさせられました。教育もまちづくりも「人と人」が行うことであり、私たち市民の一人一人が自分たちのまちをよりよくするために常日頃から何を考えるかが重要で、50 年後 100 年後の子供たちのために何を残せるかを考える意識を市民全体で共有することが大切なのではないかと感じました。



